

キャリアコンサルティングをとりまく状況

- ・産業構造・就業構造の変化
- ・技術革新の進展
- ・価値観や生活スタイルの多様化
- ・職業人生の長期化

- ・労働需要が変化
- ・各職業の業務内容と必要な知識・技能が変化
- ・キャリアや働き方が多様化

キャリアコンサルタントには、自律的・主体的なキャリア形成に取り組む労働者に経済社会情勢の変化に対応した支援を行うことができる能力が求められる

今後のキャリアコンサルティングに必要な能力

経済社会情勢の変化に対応したキャリアコンサルティングを行うために追加・強化が必要な能力について、すべての活動領域に共通して必要な能力 及び 各活動領域に応じて必要な能力 に整理

すべての活動領域において共通に追加・強化が必要な能力

労働者が自身の職業人生において目指す姿を設定し、その実現のための課題の達成に向けて継続的に取り組む力を身につけることを支援する「開発型」の支援を行うことができる能力が求められる。

○ 以下の支援を行うことができる能力が必要

- ・様々な情報を活用した自己理解・仕事理解・環境理解の支援
- ・働くことの意義の理解まで含めた職業生活設計に関する支援
- ・将来予測も含めた最新の情報を踏まえた職業の選択に関する支援
- ・動機づけ支援や伴走支援も含めた職業能力開発・向上に関する支援
- ・組織・環境への働きかけ及び専門家等と連携した支援
- ・AI等のデジタルツールを活用した支援

各活動領域において追加・強化が必要な専門的な能力

企業領域

企業の理解の促進、経営層や人事部門との連携・協力、従業員のキャリア形成支援に向けた環境づくり

需給調整領域

労働市場や職種の情報の提供、マッチング、求職条件・採用条件変更への働きかけ、職場定着支援

教育領域

キャリア教育、就職支援・インターンシップ関連業務、カリキュラム設計への協力、リカレント教育

地域・福祉領域

情報収集とアセスメント、支援の方向性の提案、支援プログラムの企画運営、キャリアプランの作成・実行支援

キャリアコンサルタントの能力開発の促進

- ・スーパービジョン、インターンシップ、事例検討会等の実践的な学びが効果的
- ・今後のキャリアコンサルティングに必要な能力を身につけるために習得すべき知識・技能の具体化に向けたさらなる検討が必要

キャリアコンサルティングの活用促進

- ・キャリア形成やリ・スキリングの重要性とキャリアコンサルティングの効果についての国民の認知・理解の促進が必要
- ・あらゆる労働者が雇用形態や就業状況にかかわらず質の高いキャリアコンサルティングを受けられる機会の確保が重要